

貯法: 1. 気密容器に入れて遮光保存。
2. 火気を避けて保存。

使用期限: 紙箱、容器等に記載

注意: 取扱い上の注意の項参照

手指消毒用速乾性アルコールローション

ヒビスコール[®]液A Hibiscohol[®]A

【禁忌(次の場合には使用しないこと)】

- (1) クロルヘキシジン製剤に対し過敏症の既往歴のある患者
- (2) 膈、膀胱、口腔等の粘膜面
〔クロルヘキシジン製剤の前記部位への使用により、ショック症状(初期症状: 悪心・不快感・冷汗・眩暈・胸内苦悶・呼吸困難・発赤等)の発現が報告されている。〕
- (3) 損傷皮膚及び粘膜〔エタノールを含有するので、損傷皮膚及び粘膜への使用により、刺激作用を有する。〕

**【組成・性状】

ヒビスコール液A 100mL中

クロルヘキシジングルコン酸塩 0.2g含有

添加物としてアジピン酸ジイソブチル、アラントイン、ポリオキシエチレンヤシ油脂脂肪酸グリセリル、エタノールを含有する。

ヒビスコール液Aは無色澄明な液で特異なおいがある。

【効能・効果】

手指の消毒

【用法・用量】

そのまま使用する。

**【使用上の注意】

1. 慎重投与(次の場合には慎重に使用すること)

- (1) 薬物過敏症の既往歴のある者
- (2) 喘息等のアレルギー疾患の既往歴、家族歴のある者

2. 重要な基本的注意

- (1) ショック等の反応を予測するため、使用に際してはクロルヘキシジン製剤に対する過敏症の既往歴、薬物過敏体質の有無について十分な問診を行うこと。
- (2) 本剤は希釈せず、原液のまま使用すること。
- (3) 本剤の使用中に誤って眼に入らないように注意すること。眼に入った場合には、直ちによく水洗すること。

3. 副作用

本剤は使用成績調査等の副作用発現頻度が明確となる調査を実施していない。

(1) 重大な副作用

ショック(0.1%未満)があらわれることがあるので観察を十分に行い、悪心・不快感・冷汗・眩暈・胸内苦悶・呼吸困難・発赤等があらわれた場合には、直ちに使用を中止し、適切な処置を行うこと。

(2) その他の副作用

	頻度不明	0.1%未満
過敏症 ^{注1)}		発疹・蕁麻疹等
皮膚 ^{注2)}	刺激症状	

注1) このような症状があらわれた場合には、直ちに使用を中止し、再使用しないこと。

注2) このような症状があらわれた場合には使用を中止すること。

4. 適用上の注意

投与経路: 手指消毒以外の目的には使用しないこと。

使用時:

- (1) 反復使用した場合には、脱脂等による皮膚荒れを起こすことがあるので注意すること。
- (2) 血清・膿汁等の有機性物質は殺菌作用を減弱させるので、これらが附着している場合は、十分洗い落としてから使用すること。
- (3) 石けん類は本剤の殺菌作用を減弱させるので、予備洗浄に用いた石けん分を十分に洗い落としてから使用すること。
- (4) 引火性、揮発性があるため、火気には十分注意すること。

**5. その他

クロルヘキシジングルコン酸塩製剤の投与により、ショック症状を起こした患者のうち、数例について、血清中にクロルヘキシジンに特異的なIgE抗体が検出されたとの報告がある。

**【薬効薬理】

1. ヒビスコール液Aの殺菌力試験¹⁾

ヒビスコール液Aにつき、石炭酸係数測定法に準拠する方法で各2回試験した。

供試菌	10分で死滅を示す最大希釈倍率	
<i>Pseudomonas aeruginosa</i> ATCC 27853	20	20
<i>Proteus vulgaris</i> ATCC 13315	30	20
<i>Escherichia coli</i> ATCC 25922	50	40
<i>Enterobacter cloacae</i> ATCC 23355	60	60
<i>Salmonella typhimurium</i> ATCC 14028	40	40
<i>Serratia marcescens</i> ATCC 8100	20	10
<i>Staphylococcus aureus</i> ATCC 25923	10	5
<i>Staphylococcus epidermidis</i> ATCC 12228	120	145
<i>Streptococcus pyogenes</i> ATCC 19615	90	70
<i>Streptococcus faecalis</i> ATCC 33186	30	30

2. グローブジューズ準拠法による有効性^{2) 3)}

2医療施設において、健康人の男女成人を対象として、ヒビスコール液Aを約3～4mL手にとり試験した結果、その有効性が認められた。

** 3. 改良Kelsey-Sykes法による有効性⁴⁾

ヒビスコール液Aにつき、対照薬剤として市販の0.2%クロルヘキシジングルコン酸塩 エタノール製剤を用い比較した結果、両薬剤の殺菌効果は同等であった。

**【有効成分に関する理化学的知見】

一般名：クロルヘキシジングルコン酸塩
(Chlorhexidine Gluconate)

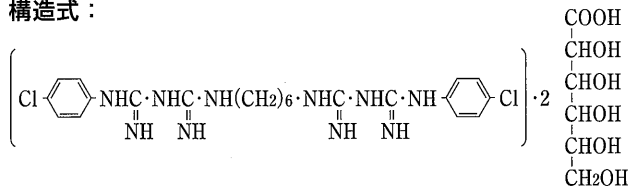
化学名：2, 4, 11, 13-Tetraazatetradecane diimidamide, N, N''-bis(4-chlorophenyl)-3, 12-diimino-, di-D-gluconate

分子式：C₂₂H₃₀Cl₂N₁₀ · 2C₆H₁₂O₇

分子量：897.76

性状：通常、水溶液として存在し、その20^{w/v}%液は、無色～微黄色の澄明な液で、においはなく、味は苦い。
水又は酢酸(100)と混和する。本品1mLはエタノール(99.5)5mL以下又はアセトン3mL以下と混和するが、溶媒の量を増加するとき白濁する。
光によって徐々に着色する。
比重₂₀²⁰：1.06～1.07

構造式：



**【取扱い上の注意】

〈注意〉

本剤の付着した白布を直接、次亜塩素酸塩で漂白すると、褐色のシミを生じることがあるので、漂白剤としては過炭酸ナトリウム等の酸素系漂白剤が適当である。

**〈安定性試験⁵⁾〉

加速試験(40℃、相対湿度75%、6ヶ月)の結果、外観及び含量等は規格の範囲内であり、本製剤は通常の市場流通下において3年間安定であることが推測された。

【包装】

200mL, 500mL, 600mL(デスポーザブル), 800mL(デスポーザブル), 980mL(デスポーザブル), 1L, 1L(デスポーザブル), 5L, 16L

**【主要文献】

- 1) サラヤ株式会社 バイオケミカル研究所 資料
- 2) エモリエント剤を配合したアルコール性ローション型手指消毒剤による手指消毒効果 サラヤ株式会社 バイオケミカル研究所 資料
- 3) アルコール性ローション型手指消毒剤の自動噴霧による手指消毒効果の検討 — ベースン手洗い法との比較 — サラヤ株式会社 バイオケミカル研究所 資料
- 4) サラヤ株式会社 バイオケミカル研究所 資料

** 5) サラヤ株式会社 バイオケミカル研究所 資料

**【文献請求先】

サラヤ株式会社 学術病専課

〒541-0051 大阪市中央区備後町4-2-5 TEL.(06)4706-3938

製造販売元

サラヤ株式会社

〒546-0013 大阪市東住吉区湯里2-2-8
TEL. 06-6797-2525